



Green For All
KAWASAKI 2024



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

G5テーマ「緑×コミュニティ」

グリーンハックプロジェクト

～地域 みんなが主体となり緑を通じて繋がる～

解決したい課題

『街』という目線

地域内でも属性・世代を超えた「繋がる機会」が少ない

『緑』という目線

関心がある人以外、緑に興味をもつきっかけが限られている

ハック = ちょっとしたアイデア、コツ

地域の多様な主体が

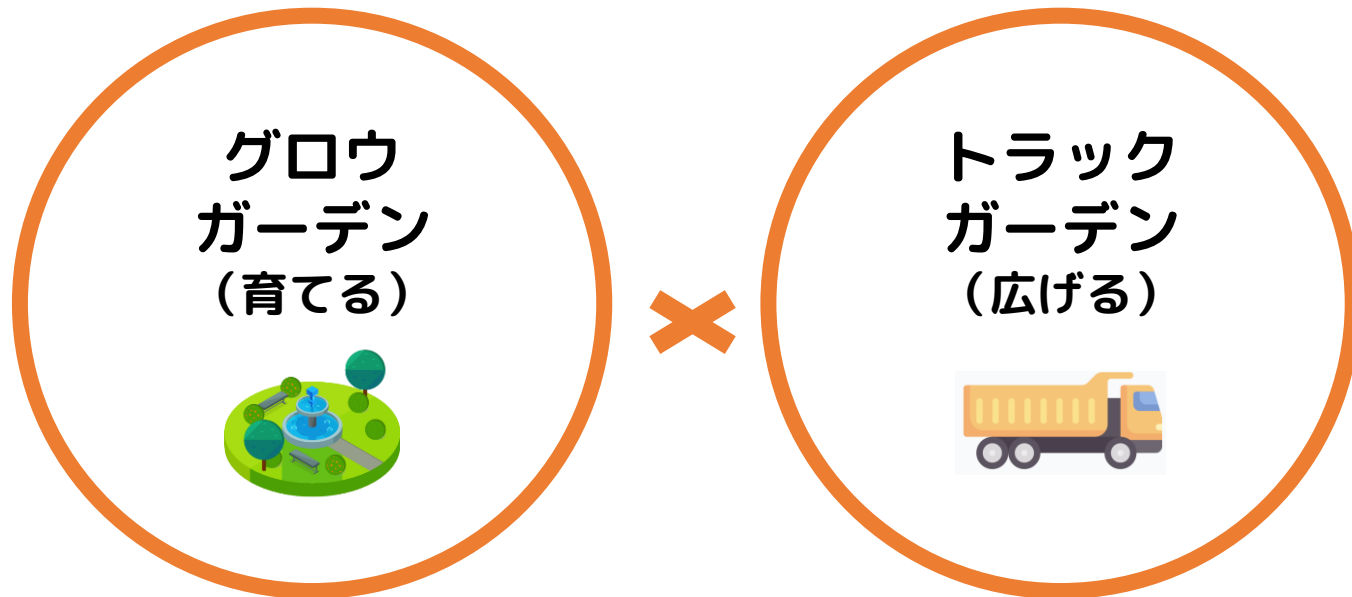
“ハック”を仕掛けることによって

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

川崎のまちを共創していく



二つのハック（アイデア）でアプローチ



川崎の人や魅力に焦点をあて
人同士の繋がりを醸成し、緑に興味をもってもらう

ハック① グロウガーデン（育てる）

- ❖ みどりを植えて育てて活用する、多彩なみどりを楽しむためのガーデン
- ❖ 日々の水やりやお手入れからイベント・ワークショップまで、幅広く緑との関わり方を仕掛けていく
- ❖ 様々な主体の取り組みを巻き込み、積極的に新しいチャレンジを応援同時に多様な魅力・文化・技術の伝承

コンテンツ（例）

- 緑や環境をテーマとする実証実験
- シェア菜園・実りフェンス
- 地元野菜を味わう体験: かわさき育ち試食会、芋煮会や青空キッチン
- コンポストの普及推進スポット
- ステージやイベント広場



緑や土に触れる機会を作るだけでなく、
様々な「挑戦（チャレンジ）」を実施する場所にしていく

グロウガーデニングイメージ（例）



ハック② トラックガーデン（広げる）

- ❖ 川崎の緑を運ぶ移動式のトラックガーデン
- ❖ 公園や学校、河川敷など様々な場所を回遊し、拠点を超えてより多くの人にコンテンツを届ける
- ❖ グロウガーデンの緑の一部としても展示

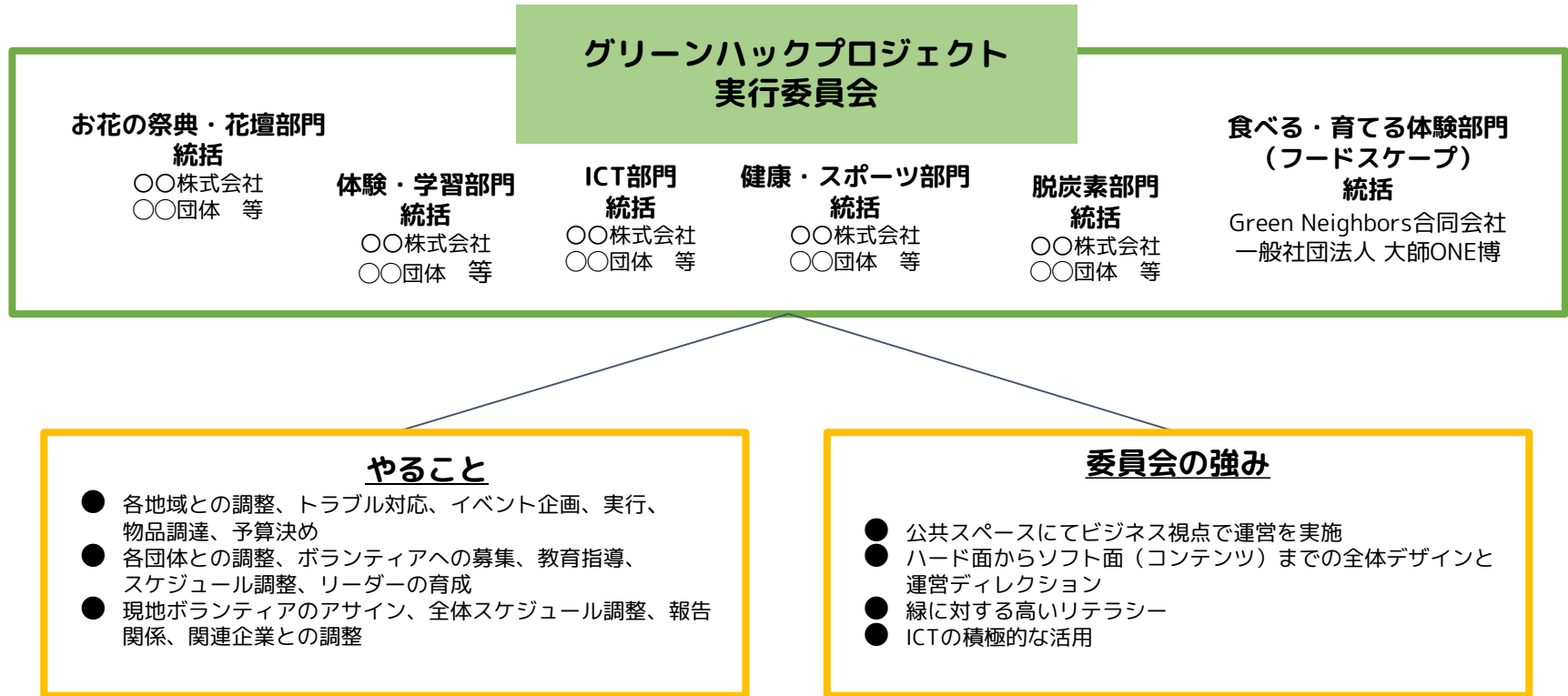
コンテンツ（例）

- 体験会やワークショップなどの企画
- 農家・植木屋さんの植物を展示
 - 出張販売所として活用していただき、地場産業の活性化に繋げるということも
- 造園業者によるモデルガーデンの展示



川崎市内の様々な緑の資源を交換し
より広く「知ってもらう」機会にする

実現に必要な「ヒト」：組織図と協力者



**実行委員会を民間企業や団体から組成し
様々な視点・経験則から協議し実行していく**

実現に必要な「モノ」：資材など

- トラック
- プランター
- 土
- 植物苗（花・野菜・果樹）

...



なるべく企業のロス製品や端材を活用することによって
サステナブルを目指す

実現に必要な「カネ」：資金源

1. 川崎市からの補助金

2. 企業からのスポンサー・一般寄付

3. 収益事業：

菜園のレンタル利用料 / キッチンカーのテナント料など

収益事業を運営することにより、一部資金源を自前で捻出する仕組み

グリーンハックによって期待する効果

目指す状態



信頼できる地域 ネットワークの構築

- ▶ 多世代・多様な
バックグラウンドの人たち
同士で関係性が醸成
- ▶ 子供・若者の居場所がある



緑のジブンゴト化

- ▶ 自分で植えた・育てた・
使ってみたを誰もが経験
- ▶ 川崎の緑に対しての理解が
促進され、誇りをもっている



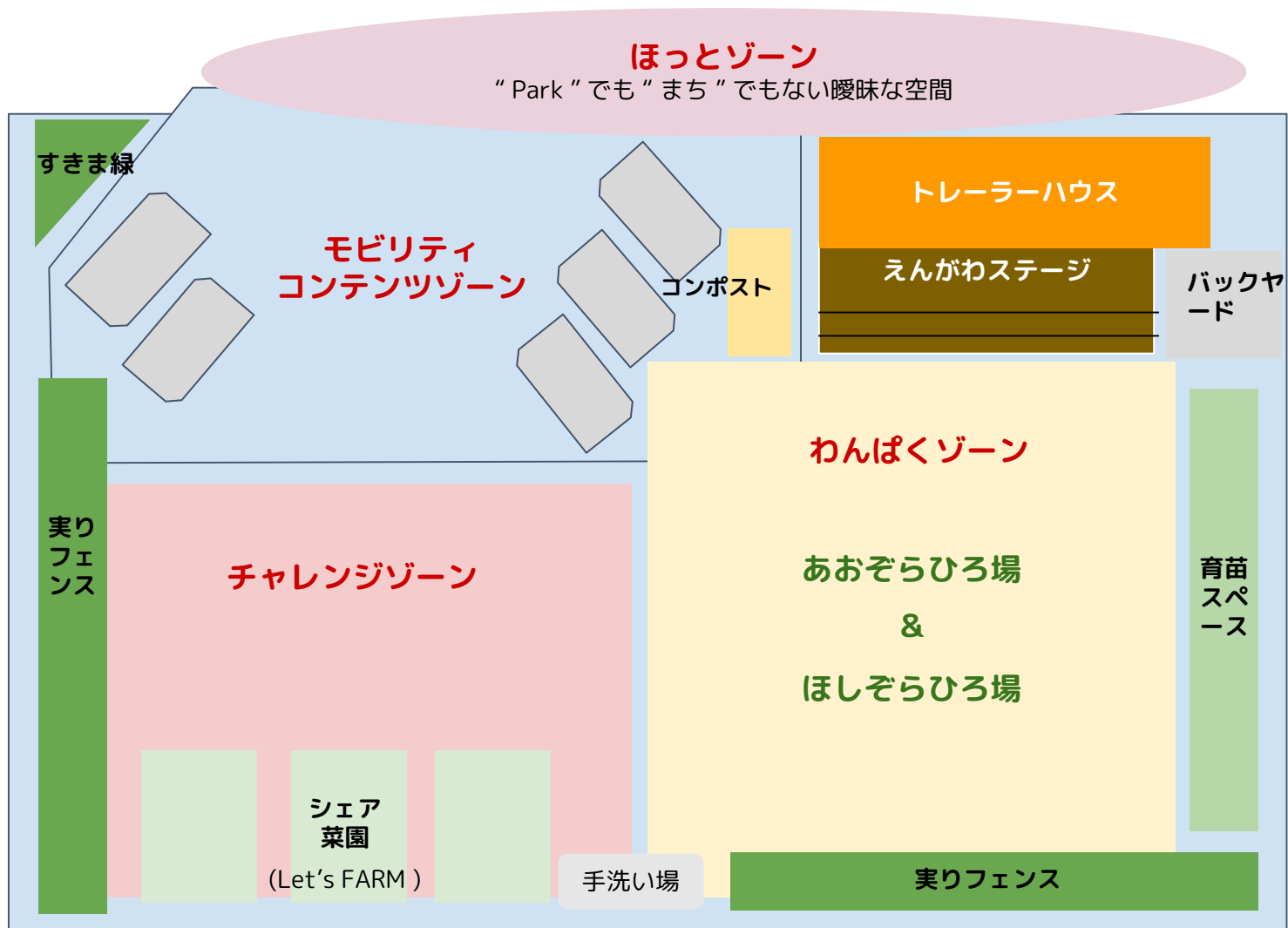
地域の多様な人々を巻き込むことにより
「住み続けたい街」を市民“自ら”作っていけるように

COLORS,
FUTURE!

未来に発信する川崎を
一緒に作っていきましょう！

補足（別紙）

グロウガーデンイメージ（例）



※ 2,000平米の土地を想定しております

※ 実施場所に応じて、記載の要素（ゾーン）を取り入れられたらと考えております

すきま緑

モビリティ コンテンツゾーン

チャレンジゾーン

- まちの中でやってみたい！という子供たちの挑戦から、スタートアップの実証実験まで
- チャレンジする人たちを応援するゾーン

チャレンジゾーン

シェア菜園

- 自宅で十分スペースを確保できない人たちが自由に菜園を楽しむ会員制のスペース
- 月に一度、会員同士で交流したり情報を交換
- 会費制などで運営費を補填
- トレファームなどの仕組みを検討

シェア
菜園

(Let's FARM)

手洗い

実り
フェンス

モビリティコンテンツ

- トラックガーデンの常設
- キッチンカーも本ゾーンに配備
- 他拠点から移動した（モビリティ）コンテンツとして造園会社の創作ガーデンなども
- 一部展示や出店料金を徴収し、収益事業とすることも検討

実りフェンス

- ワイヤーフェンスに蔓性の植物（ゴーヤ・きゅうり・朝顔など）をはわせて実るものに
- 文化交流もかねて、姉妹都市の植物も活用（リエカ市、瀋陽市、ウーロンゴン市など）
- 剪定や日常手入れをみんなで実施しながら、季節ごとの変化を楽しむ

トレーラーハウス

- 事務所、キッチン、授乳スペースなどとして活用できるトレーラーハウス

コンポスト

- コンポストの普及促進を目的に、コンポストのミニレクチャー定期的に開催

あおぞらひろ場&ほしぞらひろ場

- 昼間はあおぞらひろ場として、裸足でも遊べることをコンセプトにした空間。子供向けのワークショップや、地域を盛り上げる作戦会議を展開
- 夜はほしぞらひろ場として、ゆっくりとおしゃべりを楽しむ大人の空間に。カクテルにミントを添えるなど、気軽なFarm to Tableを体験



ほっとゾーン

“Park”でも“まち”でもない
曖昧な空間

トレーラーハウス

えんがわステージ

コンポスト

バック
ヤード

あおぞらひろ場

&

ほしぞらひろ場

育苗
スペ
ース

実りフェンス

ほっとゾーン

- 街とガーデンの境界となるセットバック
- ベンチなどを配備することによって、入りやすい雰囲気

えんがわステージ

- ライブパフォーマンスなど、催し物を開催する中心としてステージを設置

育苗スペース

- 種から育てる、挿し木で増やすなど、植物の小さい命を育む場所
- 育てたものを街中へ広げていく仕掛けをつくる
(例：学校や病院などへと緑を拡散する)

収支計画のイメージ（例）

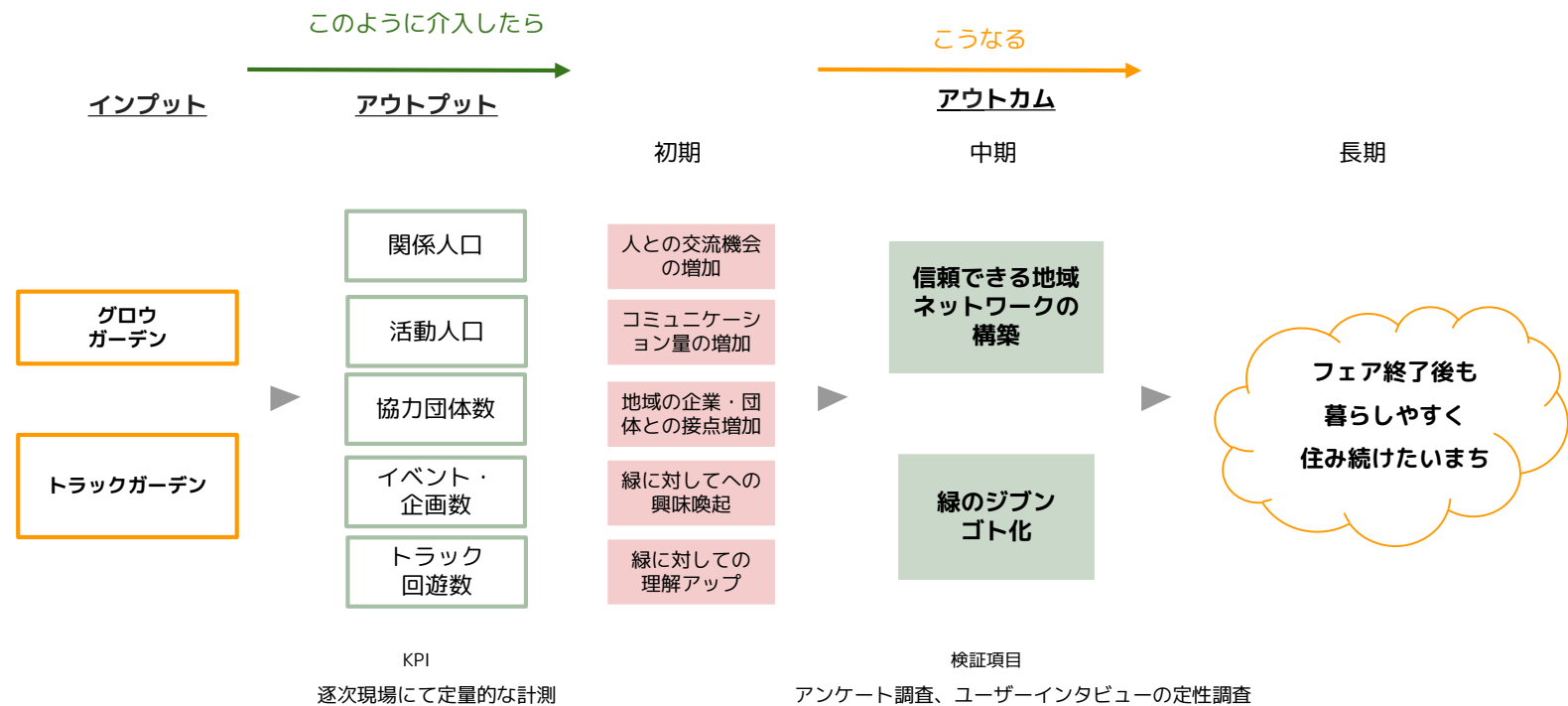
支出見込み	収入見込み
施設設備費 ● 軽トラック ● ステージ ● 用土、肥料、 苗 ● 簡易トイレ ● 設置費… 約500万	● 川崎市の支援（5割程度） ● 企業スポンサー・一般寄付（4割程度） ● 収益事業（1割程度） > 菜園のレンタル利用料金： 月額料金、クラウドファンด์式 > キッチンカー等のテナント料： 売上の%、固定賃料 > 広告料など
運営費 ● PM人件費 ● 水光熱費 ● 用土、肥料、 苗 … 約1,500万	

※ 場所・詳細コンテンツに応じて要検討（行政所有地を優先的に検討）

※ 内訳概算（参考）：<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1qviJAxivQ94jjH2SyfDIJNtfQR05jn-9fbMRpfREzk/edit?usp=sharing>

収益事業を拡大していくことにより、持続的な運営を目指していく

ロジックツリー：成果指標（例）



定量・定性調査による効果検証を行いながら、長期目標に繋がる施作を改善していく